

眼科

1. 概要

白内障手術においては、最新機械を導入した。+1.5D加入眼内レンズおよびトーリック眼内レンズ（乱視矯正用眼内レンズ）の使用が増加した。多焦点眼内レンズも使用開始した。

また、日帰り外来白内障手術件数は増加した。今後も、白内障手術については順次、入院手術から外来手術への移行を図る予定である。

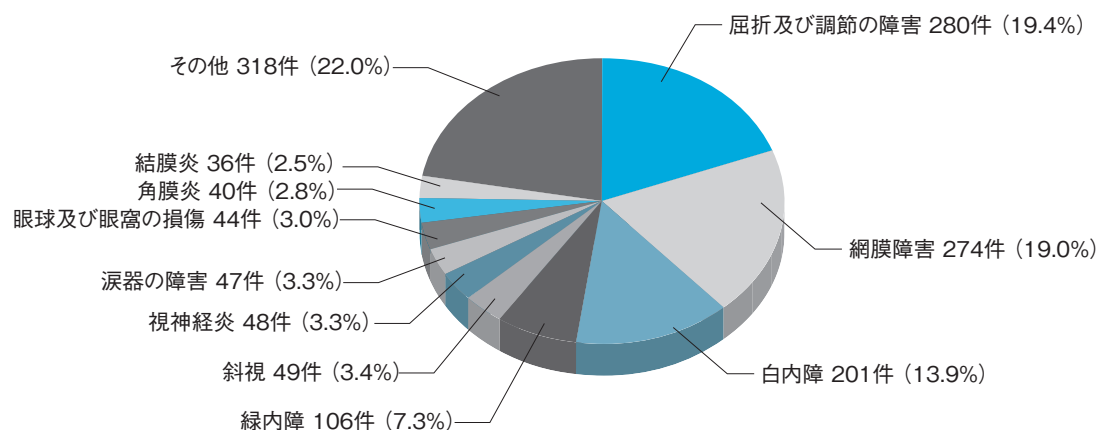
緑内障手術についてはMIGSの適応が拡大し、マイクロフックを用いた線維柱帯切開術の手術件数が増加した。硝子体手術とともに、低侵襲手術化がすすんでいる。

手術室において看護師・臨床工学士と協力してさらなる業務の効率化を検討中である。眼科外来においては、新しいレーザー装置の導入により、従来の網膜光凝固に加え、パターンレーザーが施行可能となった。

（部長 佐川 宏恵）

2. 新規登録疾患

総数：1,443件



疾患名	主となるICD10病名	件数(件)	ICD10
屈折及び調節の障害	乱視	272	H522
網膜障害	詳細不明の糖尿病, 眼合併症を伴うもの	142	E143
	黄斑及び後極の変性	66	H353
白内障	老人性白内障, 詳細不明	99	H259
	白内障, 詳細不明	30	H269
緑内障	緑内障, 詳細不明	46	H409
	原発開放隅角緑内障	19	H401
斜視	共同性外斜視	10	H501
	間欠性斜視	10	H503
視神経炎	視神経炎	48	H46
涙器の障害	涙腺のその他の障害	39	H041
眼球及び眼窩の損傷	眼球及び眼窩組織の挫傷	39	S051
角膜炎	角膜炎, 詳細不明	14	H169
結膜炎	結膜炎, 詳細不明	24	H109

3. 活動報告

(1) 患者状況

年間外来患者数	15,441人	年間外来新患者数	983人
年間入院患者数	2,188人	年間入院新患者数	389人

(2) 入院時の疾患内訳

疾患名	件数(件)	疾患名	件数(件)
白内障	221	眼内レンズ脱臼	3
糖尿病網膜症	47	斜視	3
緑内障	41	結膜腫瘍	2
網膜前膜	25	硝子体黄斑牽引症候群	2
網膜剥離	17	眼窩蜂窩織炎	1
視神経症	9	急性網膜壊死	1
黄斑円孔	8	増殖硝子体網膜症	1
硝子体出血・混濁	5	未熟児網膜症	1
角膜穿孔	4	計	391

(3) 手術・検査数

①外来手術数

術式	件数(件)
硝子体注射・テノン嚢下注射	459
網膜光凝固術(PHC)	101
レーザー後発白内障切開術(YAG)	53
レーザー虹彩切開術(LI)	28
レーザー線維柱帯形成術(LTP/SLT)	5
涙点プラグ挿入	2
霰粒腫摘出術	2
計	650

②外来特殊検査件数

術式	件数(件)
光干渉断層撮影(OCT)	8,502
動的量の視野検査	715
静的量の視野検査	444
蛍光眼底撮影	202
眼鏡処方	130
計	9,993

③手術センター手術数

術式	件数(件)
白内障手術	452
硝子体茎顕微鏡下離断術	105
流出路再建術	22
濾過胞再建術	16
翼状片手術	11
結膜肉芽腫摘除術	7
斜視手術	7
緑内障治療用インプラント挿入術	7
縫着レンズ挿入	5
角膜・強膜異物除去術	3
角膜・強膜縫合術	3
眼瞼下垂症手術	3
眼瞼腫瘍切除術	3
内反症手術	3
前房・虹彩内異物除去術	2
結膜嚢形成手術	1
硝子体注入・吸引術	1
網膜光凝固術	1
計	652